

# ふるさと探訪

## 第52回 国史跡「永納山城跡」



河原津海岸の西側に位置する標高132呎の永納山には、7世紀後半後に築城された古代山城の遺跡があります。



▲ 休暇村瀬戸内東予方向から望む永納山(中央)

日本の城は造られた時代によって古代山城・中世山城・近世の城と大きく三分類されますが、その中でも古代山城は最も古のもので、日本書紀にも「白村江の戦い」に敗れたことから、西日本の要衝に城を築き、唐や新羅の侵攻に備えたことが記されています。現在のところ、古

代山城は西日本を中心に25カ所しか発見されていません。愛媛県では永納山城1カ所のみで、四国でも3カ所しか確認されていない貴重な遺跡であることから、平成17年には国史跡の指定を受けています。今からおよそ1300年前の古代ロマンに夢を馳せる人たちにより「永納山古代山城跡の会」が結成され、永納山城跡を中心に地域を盛り上げようとする活動がなされています。市でもこの貴重な遺跡を守り伝えていくための発掘調査を進めており、今後の整備によって、歴史と自然に触れる

ことのできる場となることを期待されています。



▲ 発掘調査の進む城跡

■所在地 西条市河原津および今治市孫兵衛作

